様式第45

避雷装置点検表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 検査項目 | | 検査内容 | 補正･補修事項 | 判定 |
| 突針又は  架空線 | | 被保護建物は突針の先端（架空線の上端）から45度の範囲内にあるか。 |  | 適・否 |
| 被保護建物の上端から突針の先端まで25ｃｍ（架空線の上端まで3ｍ）以上あるか。 |  | 適・否 |
| 突針は垂直に、架空線は水平になっているか。 |  | 適・否 |
| 突針（架空線）は避雷導線によって接地電極に接続してあるか。 |  | 適・否 |
| 避雷導線 | | 被保護建物の上端以下は2条以上になり、引き離して設けてあるか。 |  | 適・否 |
| 直線的（わん曲部の半径は20ｃｍ以上）に、かつ建物の最外側に沿って設けてあるか。 |  | 適・否 |
| 電燈線、雨どい、その他の金属製の物から1ｍ以上離れているか。 |  | 適・否 |
| 避雷針又は  架空地線 | | 独立して設けた場合は、建物から2.5ｍ以上離れているか。 |  | 適・否 |
| 雷撃、風圧等により損傷が生じないよう堅固に設置してあるか。 |  | 適・否 |
| 支線は支持点において避雷導線に接続してあるか。 |  | 適・否 |
| 接地電極 | | 避雷導線ごとに1個以上あるか。 |  | 適・否 |
| 周囲1ｍ未満にガス管は埋設されてないか。 |  | 適・否 |
| 接地抵抗は検査証明書のとおり。（　　　　　　Ω） |  | 適・否 |
| 構造 | 突針 | 銅棒、直径12ｍｍ以上　　（　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
| 架空線 | 銅線、断面積30ｍｍ以上　（　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
| 避雷導線 | 銅線、断面積30ｍｍ以上　（　　　　　・　　　ｍｍ） |  | 適・否 |
| 接地電極 | 銅板　　　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　） |  | 適・否 |
| 備考 | |  |  |  |